2019 年度「カープピンクリボンバッジプロジェクト助成事業」報告書

ニュウセンシッカンカンジャノカイ　ノゾミノカイ

乳腺疾患患者の会　のぞみの会

乳腺疾患患者の会　のぞみの会　広島・尾道　冬の例会「講演会・トーク&ライブ」

＜開催日時＞　尾道会場：2020 年 1 月 18 日(土)　14 時～16 時（開場 13:30）
　　広島会場：2020 年 1 月 19 日(日)　14 時～16 時（開場 13:30）

＜開催場所＞
　　広島会場：広島県医師会館 301 号室　(広島市東区二葉の里 3-2-3)
　　尾道会場：尾道市総合福祉センター4 階集団指導室（尾道市門田町 22-5）

＜内　　容＞

◎尾道会場　・講演：「婦人科がんについて勉強しよう！
　　～乳がん患者が気を付けるべき卵巣がんと子宮体がんについて～」
　　・講師：坂下　知久先生（JA 尾道総合病院　産婦人科主任部長）
　　・杉浦貴之トーク＆ライブ「何があっても大丈夫」
　　ーがん余命半年から２０年を迎えてー
　　・メッセンジャー　杉浦　貴之氏（「命のﾏｶﾞｼﾞﾝ・ﾒｯｾﾝｼﾞｬｰ」編集長）

◎広島会場　・講演「乳がんの薬物治療と副作用について」
　　・講師　重松　英朗先生（呉医療センター・中国がんセンター乳腺外科）
　　・杉浦貴之トーク＆ライブ「何があっても大丈夫」（内容は尾道会場と共通）

＜当日の様子＞

坂下先生には婦人科がんの中でも、乳がんと関係性の深い子宮体がんと卵巣がんについてわかりやすくお話して頂きました。どちらも自覚症状がなく早期発見しにくいので、閉経後の不整出血の際は子宮体がんを疑ってきちんと検査を受ける必要があるとか、卵巣がんの発生しやすい家族背景や遺伝的要素がある場合はエコー検査が必要というお話でした。

重松先生には乳がんのｻﾌﾞﾀｲﾌﾟ別の薬物療法の概略とホルモン療法の副作用、抗がん剤の副作用について例をあげながら具体的にお話して頂きました。

杉浦さんからは「治すために生きるのではない。生きるために治すのだ」という前向きな言葉が皆の心に届きました。余命宣告されたほどの希少がんを乗り越えた体験談とその時に自分を支えた 4 つの希望の話と 3 曲の歌に感動しました。

＜当日の様子＞

◎尾道会場風景

重松先生（広島）

坂下先生（尾道）

杉浦さん（広島・尾道）

◎広島会場風景